

地域経済特殊研究

担当者 西嶋 淳

開講時期 通年 単 位 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

●講義の概要

研究テーマに即して、関連先行研究の批判的検討などを行いながら、経済学理論の応用と実証に基づく独創性・先進性の高い博士論文を執筆するための指導を行います。

●講義の到達目標

学術研究に対する認識を深めることを通して、3年間での博士論文執筆を目標に、早期に研究テーマを決定し、これを達成するための研究計画を作成できるようになる。その上で、先行研究のレビューの仕方、適切な分析方法の選択、信頼性の高いデータの収集方法及び解析技法、適切な論述の仕方などの高度の研究能力を習得します。

●講義計画

1年目は、受講生の関心、問題意識に応じて研究領域を特定し、早期の研究テーマの絞り込みと研究計画作成、及び関連先行研究のサーベイを指導します。

2年目は、受講生による先行研究のサーベイを踏まえて、研究の枠組みの構築、分析方法の選択並びに実証分析に向けてのデータ収集及び解析について指導します。また、研究内容に応じて、実証分析の成果発表、研究ノート執筆・投稿についても指導します。

3年目は、前期では、研究テーマに即した学会・研究会での研究報告・論文発表、研究論文執筆・投稿を中心に指導します。後期では、中間論文報告会での指摘事項をも踏まえて、論文構成、文章表現など全般にわたる再吟味などを通して、質の高い博士論文の完成に向けて指導します。

●成績評価基準と方法

① 評価方法

以下の事項、割合により評価します。

- ・適切な研究計画の作成（主に1年次）〔10%〕
- ・先行研究のレビューの質と量（主に1・2年次）〔30%〕
- ・関連分野の学会・研究会での報告・発表内容（主に2・3年次）〔60%〕

② 評価基準

- ・学術研究に対する認識を深め、高い倫理観を身につけているか。
- ・3年間での博士論文執筆を達成しうる研究計画を作成しているか。
- ・先行研究の適切なレビューの仕方を身につけているか。
- ・適切な分析方法の選択、信頼性の高いデータの収集方法及び解析技法、適切な論述の仕方などの高度の研究能力を習得しているか。

●テキスト又は参考文献

適宜、指示します。

●受講上の留意点

高い倫理観のもとに学術研究活動を行うことが基本中の基本です。取り組む研究の社会的意義についても常に自問するように心がけて下さい。